



大阪地区本部主催 組織拡大交流集会に参加して

大阪地区本部主催の「第12回組織拡大交流集会」が7月13日、国労南近畿会館で開催された。大阪地区本部からの参加要請を受け、昨年8月に加入した山宮さん（取手駅）が参加した。東京地本から古城執行委員、支部から佐藤（賢）執行委員が同行したので報告したい。

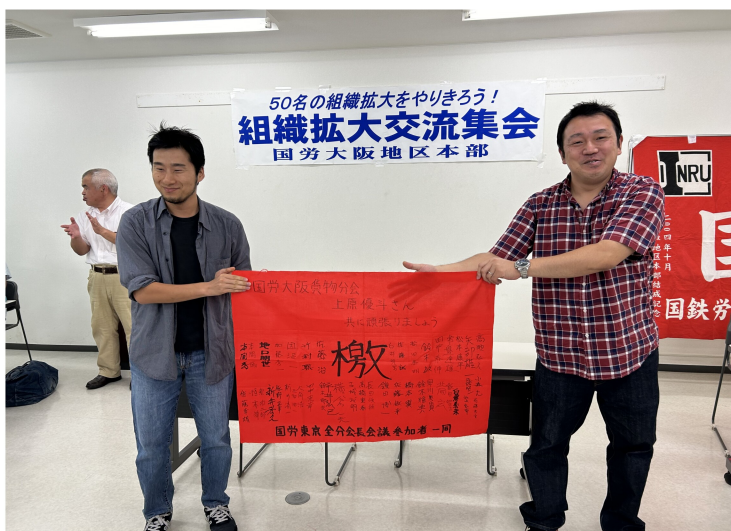
大阪地区本部山口組織部長から以下6点にわたって行動提起がされた。①目的②これまでの到達と組織拡大の展望③組織拡大の取り組み④加入した仲間の声⑤新入社員拡大行動⑥職場の現状と仲間の声。

提起を受けて全体討論をしたので、その一部を紹介したい。

加入した仲間から

Aさん：貨物労の言っていることがずっとおかしいと思っていた。運転士になったのを機に国労に加入した。

Bさん：国労加入して10年になる。貨物労に嫌気がさして国労加入したが、当時は貨物労の役員からいろいろな嫌がらせを受けた。加入してよかったことは、風通しのよい組織だと感じている。



新規加入した上原さんに檄布を渡す山宮さん



新規加入した上原さんからひと言

ロジテクスに労働組合はありません。関連会社の人間が国労に入れるとは思っていませんでした。交流会とか、団体交渉などに絶対行かないといけないう印象が強いですが、できる範囲で参加したいと思います。職場は欠員状態で回されています。職場の問題点を改善させるため、皆さんと一緒に勉強していきたいと思います。今後ともよろしくお願いします。

分民当時の懐かしい話も出ました

Dさん：分割民営化当時、清算事業団に入れられ、二次募集でJR西日本に入った。

Eさん：運転士をしていたが、事業部に出された。会社からは「適材適所」と言われた。

Fさん：九州出身。分割民営化でこちらへ来たが、事業部に配属された。国労の「現地現職へ戻せ」の運動で車掌に戻った。



福知山線脱線事故現場で

Gさん：19歳まで動労に所属。その後、国労に加入したが、毎晩のように動労の役員から嫌がらせを受けた。

Hさん：国労加入を訴えられないような職場の雰囲気。職場に偉い人が来ても、一言二言モノを言う。そういう姿を見せていくことしかできない。何とか拡大に結びつけたい。

Iさん：先輩から引き継いだキャンプを続け、若手を誘っている。共通の趣味や楽しいことを通して拡大の糸口を見つけていこう。

山宮さん感想

西日本の組合加入率の高さに驚きました。また、組合を問わず交流をして国労の良さをアピールしているという報告を受け、すごいと感じました。東京でも積極的に声かけをした方が良いと改めて思いました。自分もお酒が飲めないなので、お酒を飲まない若い人たちが参加したいと思うイベントが必要だと感じています。

編集部より

山宮さんが国労加入してちょうど一年になります。大阪地区本部から組織拡大交流集会への参加要請を受け、今回は東京地本の古城執行委員と3人で参加させていただきました。

まず驚いたのは、大阪の仲間の元気のよさでした。交流の場では、それぞれが積極的に発言していたことにビックリしました。東京ではあまり見られない光景でした。

何人かの仲間から、九州で不採用となりJR西日本へ来たが、そこでも本来業務を外されて差別されてきた、との報告がありました。私も広域異動で函館から東京へ来たので、その時の気持ちがよくわかります。「お前みたいな不良職員はJR北海道には残れないから東京へ行け」と当時の管理者から恫喝され、さんざん悩んで東京へ来たことが走馬灯のようによみがえってきました。

あれから37年。国労は少数になりましたが、それぞれ仲間の心の中には「国労魂」が今もなお宿っています。少数派ではありますが、怒りを忘れず、仲間を大切に、そして気持ちを一つに「組織の強化・拡大」を全国の仲間と共に全力をあげて取り組んでいきます。

大阪地区本部の仲間のみなさん、大変お世話になりました。ありがとうございました。

東京支部執行委員 佐藤 賢一